

外国人留学生アンケート集計

2019年12月7日

(2019年12月7日実施：[外国人留学生向け] 早期秋・冬インターン母集団形成フェア)

株式会社ベイングローバル

■概要

2019年12月7日（土）に開催した留学生向け就職イベントにおける参加学生へのアンケート調査の報告。

（イベント名：[外国人留学生向け] 業界研究フェア【文理不問】【理系限定】）

記述式を極力少なくし、選択式を採用することで回答の信頼性を保つようにした。

就職フェア参加者数：279名

アンケート回答者数：88名

アンケート回答率：約32%

※回答されたアンケートの中には、一部の設問に関して未記入のものも含む

※未回答があるため、各項目の数値や割合の合計が一致しない場合がある

※専門生や既卒者も含む

※パーセンテージは、回答者数88名を分母とし、小数点以下は切り捨てとする

■アンケートの目的

この時期の学生動向の把握および翌年以降への市場データの蓄積

■質問項目

大学名、国籍、文理、日本語能力資格の取得有無、自身の日本語レベル

Q1 興味のある業界

Q2 企業選びのポイント

Q3 興味のある企業規模

Q4 上記Q3の理由（記述式）

Q5 インターンシップ参加予定

Q6 本エントリー状況

Q7 現在の就活フェーズ

Q8 日本で何年働きたいか

Q9 将来のキャリアイメージ（転職に関して）

Q10 就活で困っていること（記述式）

<回答内訳>

【文理】文系50・理系38

外国人留学生アンケート集計

■回答者属性について

出身国	文	理	総計
中国	27	23	50
ベトナム	7	6	13
カザフスタン	1	0	1
マレーシア	0	3	3
韓国	9	2	11
台湾	2	2	4
ベナン	0	1	1
タイ	0	1	1
アルゼンチン	1	0	1
タジキスタン	1	0	1
ルーマニア	1	0	1
スリランカ	1	0	1
	50	38	88

【参加対象者】

- ・2020年4月～2021年3月に大学・大学院を卒業予定の外国人留学生
(一部既卒者、専門学校・日本語学校在籍者を含む)

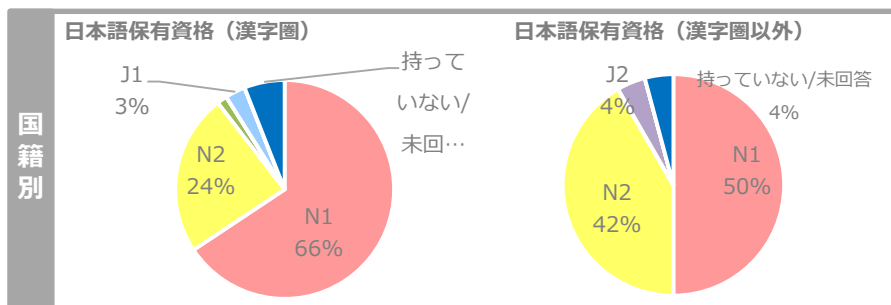
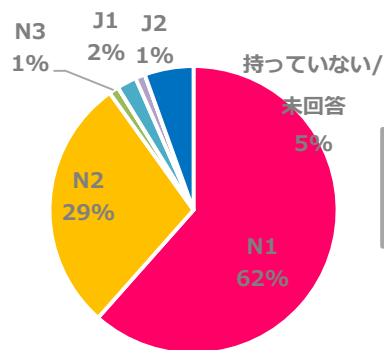
■回答者の日本語能力について (※複数回答可)

日本語	ネイティブレベル			ビジネスレベル			日常会話			カタコト			未記入			総計	
	文	理	計	文	理	計	文	理	計	文	理	計	文	理	計		
N1	5	1	6	22	8	30	10	6	16	0	0	0	2	2	4	56	62%
N2	0	0	0	3	3	6	4	14	18	0	0	0	1	1	2	26	29%
N3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1%
J1+	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
J1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2%
J2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
それ以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
持っていない/未回答	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	1	1	2	5	5%
	5	1	6	28	13	41	15	21	36	0	0	0	4	4	8	91	100%

日本語の保持資格とともに、自身の日本語レベルについて「ネイティブレベル」「ビジネスレベル」「日常会話」「カタコト」の中から自己申告で選択させた。その結果、同じN1保持者でも、自分の言語レベルを「ネイティブ」「ビジネス」「日常会話」と幅広く捉えて申告している。逆に、N2レベルで「ビジネス」を選択する回答者もあり、自己申告と検定結果に乖離がある。語学力に関してはあくまで参考程度に捉え、イベントや選考で実際に会ってレベル感を確認する必要がある。

※2019年12月1日に日本語能力試験が実施されたため、2月頃の結果発表により変動の可能性がある。

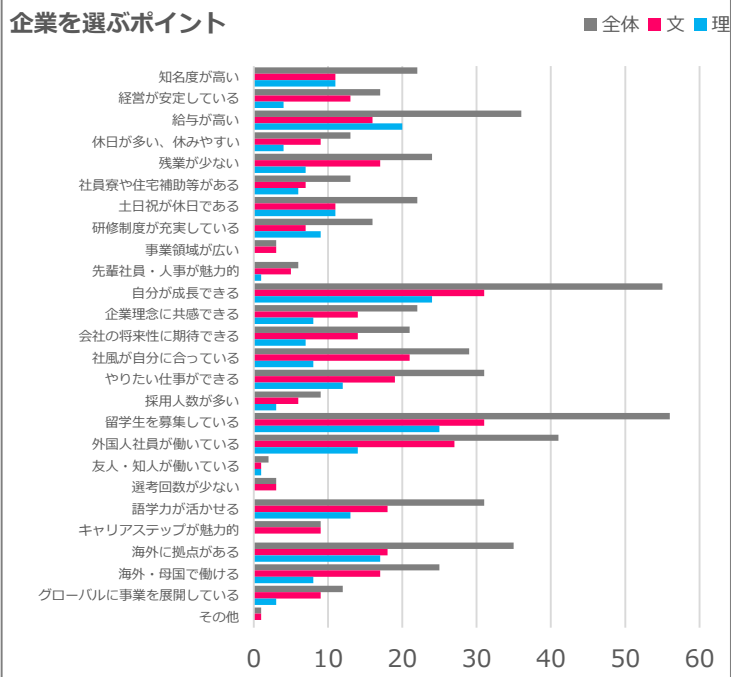
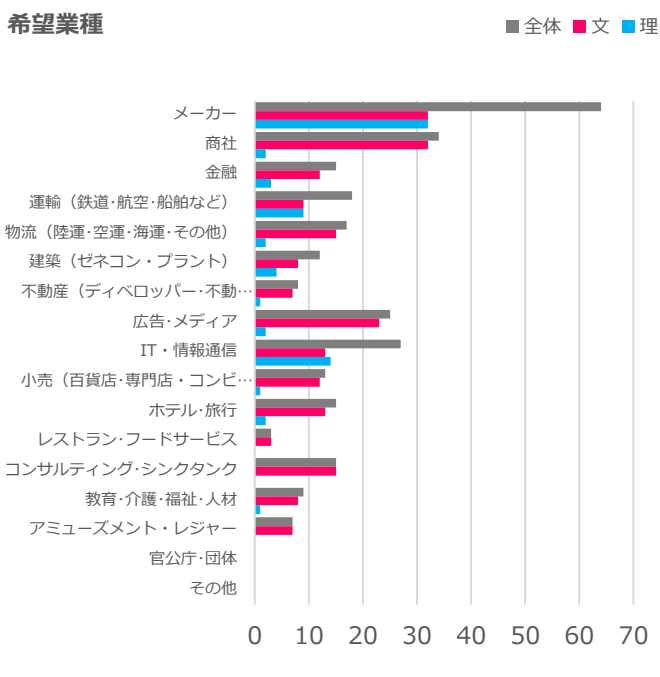
日本語保有資格 (全体)



日本語の保持資格を国籍別で比較した。
N1の保持率は漢字圏のほうが高く、漢字圏以外の留学生にとって日本語のハードルの高さが伺える。

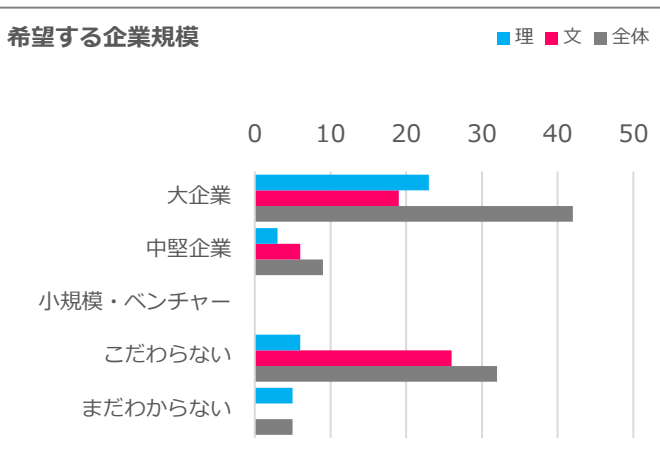
外国人留学生アンケート集計

- Q1. 興味のある業界について、当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)
- Q2. 就職活動で企業を選ぶポイントは何ですか? 当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)



希望職種に関しては、文系・理系を問わずメーカーの人気が高く、次いで文系では広告・メディア、理系ではIT・情報通信が続く。企業選びのポイントの項目では、「自己成長」「やりたい仕事ができる」という自己実現軸と並び、「留学生採用の有無」「外国人が活躍できるか」といったグローバル人材活用に関する項目の注目度が高い。次いで「給与」「残業時間」「休日」などの待遇面が注目されている。この時点では企業理念や将来性など企業に関する項目はそれほど重視されていない。これは、いよいよ就職活動をスタートするにあたり、わかりやすく企業を比較するための項目に注視していることの表れといえる。早期のタイミングでは、企業理念云々よりもまずは成長できるフィールド、外国人の活躍できる環境面をきちんとアピールすることで留学生に企業の魅力を意識付けることが重要である。

- Q3. 興味のある企業規模について、当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)
- Q4. Q3で回答した理由を記入してください。(自由記入)



- 「大企業」 を選択した理由

 - ・安定 ・知名度が高い企業は信頼できる
 - ・大きな会社のほうがチャンスが多いと思う ・成長できそう
 - ・大企業には海外業務が多い ・研修などが充実しているそうです
 - ・大手企業で働くことでいろんな経験が出来ると思うので
 - ・安定した会社のほうがビザを取りやすいため
 - ・大企業は安定し、海外の進出機会も多いです
- 「中堅企業/小規模・ベンチャー」 を選択した理由

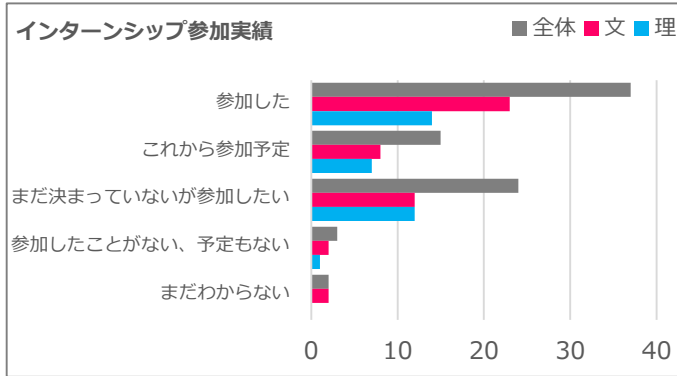
 - ・やりたい仕事をやる事が出来るからです
 - ・中小企業で働いたらいろいろなことやらせていただけると思う
 - ・自分が成長できると感じます
- 「こだわらない」 を選択した理由

 - ・自分がやりたい仕事があるのであれば規模は関係ないと思いました
 - ・楽しめればどこでもかまいません
 - ・海外に拠点があるかを優先するから
 - ・キャリアアップが一番重要なことだと思います
 - ・自分が成長できる環境なのかが大事であるため

企業規模に関しては現時点で評価が分かれた。「大企業」を選択した学生の理由としては、安定や福利厚生などの理由のほか、外国人の活躍できるフィールドを求める声や、長期的なキャリアを考えたときの自身の足場を固める場として捉えていることが伺える理由が挙げられた。大企業以外を選択した学生の回答では、「自己実現」「自分に合うか」を重視する傾向が強い。このことから、中小・ベンチャー企業でも入社後の育成方針を広報活動時から留学生に周知しておく、動機付けのひとつのポイントとなる。

外国人留学生アンケート集計

■Q6. インターンシップに参加した、または参加予定がありますか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。



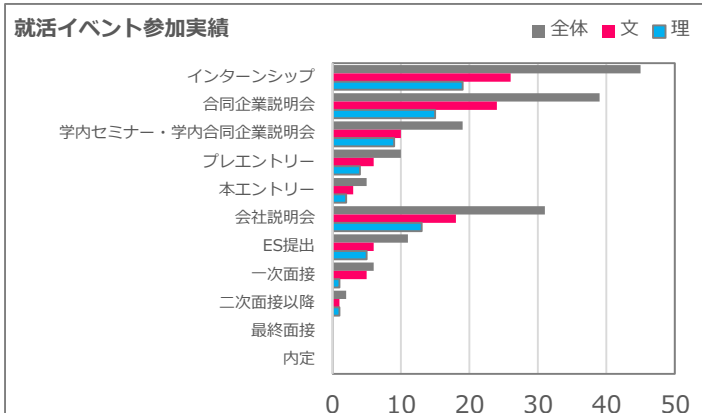
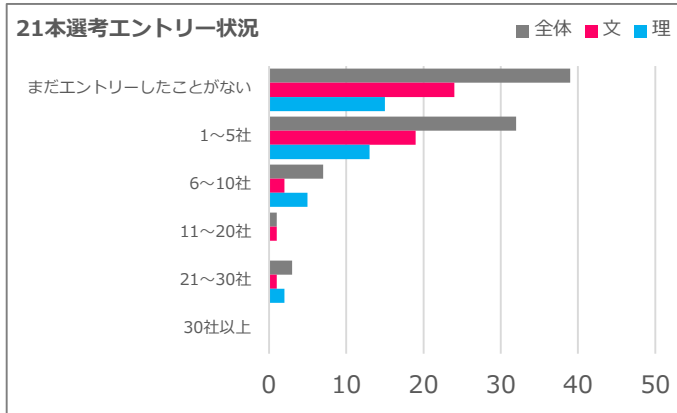
「参加した」と答えた学生が最も多く、「これから参加予定（参加が決まっている）」「決まっていないが参加したい」をあわせると、90%以上がインターンに興味または必要性を感じている結果になった。

彼らは就職活動を見据えたインターンシップに肯定的であり、早期から就職活動を意識して積極的に活動している層ともいえるため、国籍を問わず優秀人材の確保、外国人優秀人材の確保を目的とする企業はぜひ接触しておくべき母集団と考えられる。

一方で自由記述式の「就職活動に関して困っていること」の項目では「インターンシップが本選考にどの程度影響するのか」との質問もあり、必然性に駆られて活動はするものの、インターンシップの本質を見出せていない学生も多くいると思われる。

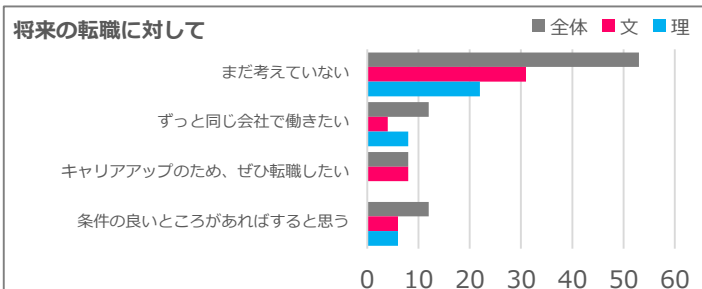
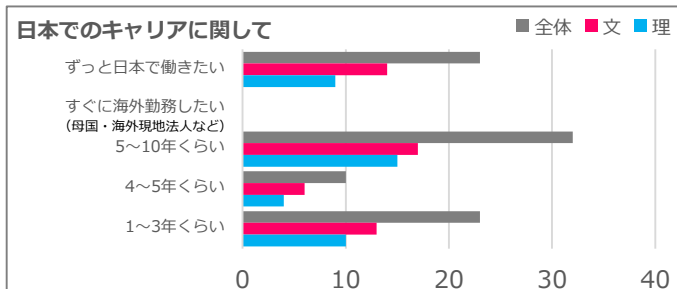
■Q6. 今までに本エントリーした企業はありますか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。
 ■Q7. 就職活動で参加したことのがあるもの、当てはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

※上記2つの設問は、本項目に回答した学生のうち、2021年卒対象となる学生（2020年4月～2021年3月卒業）のみを集計



本エントリー状況は、11月1日の調査時点とほぼ変わらず、未エントリーと5社未満の学生が大半。選考フェーズは合同企業説明会等のマス向けイベントに加えて、前回と比べ「会社説明会」の参加実績が増加した。就職活動時期が少しずつ多様化しつつある中で、わずかではあるが選考に向けた活動が始まっていることが伺える。引き続き、今後当社で実施する各イベントで定期観測を行い、集計を行うものとする。

■Q8. 日本で何年働きたいですか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。
 ■Q9. 転職に対する考えはありますか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。



日本でのキャリアに対しては、すぐに海外というよりも基本的に日本で働きたい学生が最も多い。しかしながら将来は母国への帰国を希望する層も一定数いるため、現地拠点での勤務の可能性など、幅広いフィールドでのキャリアが描けるとベストである。

■Q10. 日本で就職活動をするうえで困っていることや、わからないことはありますか？（自由記入）

【語学に関して】

- ・日本語の面接に自信がありません
- ・ビジネス日本語能力

【選考に関して】

- ・SPIが難しい

【企業選び、就活準備】

- ・自己分析のやりかたがよくわからない
- ・就活の準備のステップが多い

【日本で働くことへの不安】

- ・日本人との人間関係を心配しています
- ・日本人にとっての「暗黙のルール」がわからない。外国人としてまだ情報不足。
- ・会社の人間関係

【その他】

- ・ビザについて
- ・母国に帰っても仕事を続けられますか

11月のイベント時には見られなかった「会社での人間関係」に関する回答がいくつか上がってきているのが印象的。大学をはじめとするキャリアガイダンスや、企業のインターンシップ、合同企業説明会等で業務内容以外の「働くこと」に対する知識を吸収する中で、このような不安が生まれ始めていると思われる。社内に外国人社員がいる場合には、彼らの働き方やチームでの役割等を紹介する、入社前・入社後の研修や育成方針を説明するなど、不安を取り除く施策を提示できれば、企業の魅力付けにつながると考えられる。